



# 明化の教育

11月号 (第516号)  
令和5年10月31日  
文京区立明化小学校  
校長 熊倉 勝

## 少しずつでも進化させる

校長 熊倉 勝



新体育館で行ったキンボール。ルールが簡単で、チームワークと作戦が鍵となる楽しいスポーツです。

10月14日、明化小学校の子供たちは、スポーツの秋を堪能する1日になりました。待ちに待った明化スポーツフェスティバルの朝、いつもより少し早く登校する子どもも多く、チャイムを待つ子供たちの列が玄関まで延びました。子供たちの表情もいつも以上に笑顔で、明化スポーツフェスティバルを楽しみにしていることが伝わりました。

今年度の明化スポーツフェスティバルは、文京スポーツセンターで15種目、本校新体育館で1種目の計16種目を体験できるように企画しました。新種目は、ノンアイスカーリング、ダーツ、鉄棒、段ボール迷路、バッティング等です。そして、新体育館では、

団体競技として、キンボールを行いました。これは、「子供たちに団体競技を体験させたい。」という保護者の願いを実現させたものです。

文京スポーツセンターでは、子供たちがスポーツに夢中になって取り組む姿を数多く見ることができました。子供たちの満足した笑顔が強く心に残っています。今年度は、できるだけ制限を少なくして自由にブースを回り、好きな種目を体験できるようにしました。昨年度より時間を延ばし2時間たっぷり活動できたこと、室内と外を自由に行き来できるようにしたことも子供たちが楽しめた要因だったと感じます。また、何と云っても15種目に増やしたことで、待ち時間も少なくなり、自分の好きな種目に思う存分取り組めるようになったことがよかったと考えています。「話には聞いていたけれど、これだけ多くの種目があり、素晴らしいです。」という保護者の方からの声もいただきました。直接子供たちの様子を見て、明化スポーツフェスティバルのよさを感じていただけたことと思います。新体育館でのキンボールも各学年大いに盛り上がっていました。キンボールは、誰でも簡単にできるのですが、チームワークが必要となる競技です。最後まで諦めずにボールを追い、支えようとする姿は、見ていて微笑ましかったです。よいプレーに拍手を送る保護者の方々も多く、会場全体が心地よい雰囲気にも包まれていたように感じます。保護者の皆様の応援に感謝します。今年度も実行委員会の子供たちが作ったすてきな表示があり、会場に花を添えました。

この明化スポーツフェスティバルは、今年度で4回目となりました。子供たちの希望を基に年々種目数を増やし、新たな種目を追加することはもちろんですが、会場を外に広げたり、本校体育館を使ったりと子供たちがよりスポーツに親しめるように工夫をしてきました。大切にしてきたことは、前例踏襲ではなく、状況に応じて工夫を重ね、少しずつでも進化させるということです。毎年の子供たちの様子から手ごたえを感じています。「少しずつでも進化させる。」この積み重ねが大きな実を結びます。本校では、今後もこのことを念頭に置いて教育活動を進めて参ります。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。